

ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらっと」気軽に、

「ボランティア」しましょう!!という造語です。



発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-VC@shisha.or.jp

いわてデスティネーションキャンペーン前日清掃活動

J-T (日本たばこ産業株式会社) 盛岡支店では3月31日(土)にへひろえば街が好きになる運動を実施します!

【実施日時】

3月31日(土)

午前10時~午後4時

(出発セレモニー午後1時)

【清掃拠点】

盛岡駅前の広場

【参加について】

事前申し込みは必要ありません。

ご用意いただくものは一切ありません。清掃ツール(ゴミ袋、トンク)をお渡しします。

ゴミ袋に拾ったゴミを集め、清掃拠点にお持ちいただいた方には、もれなくJ-Tオリジナルグッズを差し上げます。

【問い合わせ先】

日本たばこ産業株式会社 盛岡支店

担当: 高橋

電話: 625-8121

*デスティネーションキャンペーンとは: JRグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンの事です。



県社協よりボランティア募集のお知らせ

「盲導犬ふれあい募金活動」のボランティア募集

(財)日本盲導犬協会 仙台訓練センターでは、この度、盲導犬の普及啓発活動として、イオンモール盛岡南店様の店頭において、盲導犬ふれあい募金活動を次のとおり実施いたします。

【日時】

平成24年4月14日(土)

5月15日(日)

正午~午後4時

【場所】

イオンモール盛岡南店

(昼食各自・現地集合・現地解散)

【希望人数】

10名程度(人数は目安です)

【服装】

活動にふさわしい服装

【活動人数】

協会担当者1名、盲導犬ユーザー・盲導犬ユニット、PR大1頭、募金活動ボランティア10名程度

【申込み締切日】

平成24年4月13日(金)

【お問合せ・申込み先】

(財)日本盲導犬協会 仙台訓練センター (担当: 奥澤)

電話: 022-2226-3910

または、

岩手県協

ボランティア・市民活動センター

電話: 019-637-9711

【毛糸の行く末...】

まだ早い!?でも、衣替えの待ちどわしいと待って下さい!
募集!
不要になった毛糸を「まごころ配達運動」に寄付して頂けませんか!?



①皆さまから頂いた毛糸を...



②一つ一つ心を込めて編んで♪



③子供たちからのメッセージカードも♡



④学童クラブの子供たちと一緒にお届けします!!



スノーバス
ターズより
活動報告



平成23年度のスノーバスターズが1月から2月に実施した一人世帯の無償巡回訪問は、暁中・暁高校生、県内企業、町役場有志、スノーバスターズ隊員の方々延べ325名の協力により、対象世帯延べ522世帯の雪かき・見守り活動を行い、無事終了することが出来ました。

訪問先では、「待っていたよ」と学生が来るのを心待ちにしている方も多く、その中でも今年はこの温かいエピソードがありました。巡回訪問から帰って来た中学生が、「あの…これ、どうしたらいいですか?」と、その手には千円札がありました。事情を聞くと、御明神地区のUさん宅に訪問した際、何回も断ったけど「頼むから子供たちに何か買ってほしい」とのこと。中学生に「どうしたい?」と聞くと「私たちだけで買うわけには…」という返事。「じゃあ、買った君たちからバスターズの支援金として寄付したら?」と言うと「そうします!」と快い返事で寄付してくれました。

Uさん、寄付してくれた中学生の皆さんありがとうございました。来年の活動に向けて大切に役立てます。

ボラ運協だより VOL.1

2月18日(土)、福祉センターにて、ボランティア運営協議会(以下、「ボラ運協」)主催の『ボランティア団体意見交換会』が開催されました。

当日は、町ボランティア活動センター(以下、「ボラセン」)に登録している18団体のうち、11団体19名の方々が参加し、現在の各々の活動について詳しくお話して頂きました。

また、日頃の活動で困っていることやボラセンへの要望などが出され、ボラ運協のメンバーもボランティアをする側の苦悩を改めて知ることができました。



「V団体意見交換会の様子」

ボランティア団体同士の連携を図るために運営されていた「ボランティア連絡協議会」が平成21年に解散してから、初めてとなる顔合わせ会となったこともあり、お互いに、町内どのようなボランティア団体がどのような活動をしているのかを知る良い機会にもなりました。

会の終了後には、「今度、うちのグループと交流しましょう。」という声も聞かれ、ボランティア団体同士でも大変意義のある交換会となったようです。

ボラ運協では、今回の意見交換会でのみなさんの声をボラセン事業運営に結び付けていきたいと思ひます。

今回は、「暁石調理師十会」の小田幸作さんで



小田(以下①)：私はこれまで「食」を通じて生活してきました。そこでお世話になった方々への恩返しをしたいと思つたことですね。
②：どんな活動をしていますか?
③：施設を対象とした時は、利用者さんにお寿司を握ったり、羊の子汁を作ります。他にも「要望があれば出来る限りお手伝いに行きたい」と思っています。

④：活動を通じてどんな事を感じますか?
①：自分が出来る事で皆さんが喜んで頂けるのが嬉しいです。施設では涙を流して手を握ってくる方もいました。「また来るから」と言つて帰ってくるのを続けていかないと、思っています。
②：今後やりたいことはありますか?
③：機会があれば回数を重ねていくだけです。また調理師会ではレクリエーションや新・忘年会、日帰り旅行なども行っていますし、これから調理師の免許を取得しようとして居る方への指導・手続きのお手伝いもしております。



④：最後にメッセージをお願いします。
①：人は一人では生きていけない。社会の中に困っている人がいれば、協力合つて明るく楽しい社会を作つてほしいです。
②：ありがとうございました。お体に気を付けて、これからもよろしくお願ひします。
*暁石調理師会は現在30名程の会員で活躍されています。これからの調理師の育成にも積極的に取り組んでいきます。